

「深めよう信頼を。つなげよう PTA と地域の輪」

笠松町立笠松小学校 PTA

会長 葛谷 太治

1 学校の概要

笠松小学校は、明治 5 年に育英義校として開校し、今年で 143 年目となる歴史ある学校です。明治 38 年には、日本初の学校看護婦が設置され、昭和 11 年の講堂新築の際には、新聞で県下一と掲載されました。昭和 43 年には、文部省指定により、道德教育の発表会を開きました。一時は 1000 人を超すマンモス校でしたが、少子化が進み、今年度は 261 名 13 学級と縮小化が進んでいます。

学校の教育目標

「みんなのしあわせを考えて豊かな心でねばり強くやりぬく子」

笠松小学校が 50 年前から取り組んでいる道德教育を基盤にし、自立を育てる 3 つの活動、つまり“あいさつ”“掃除”“生き物の世話”を軸として、教育活動を進めています。

2 PTA 活動の概要

笠松小学校 PTA の活動テーマ

「深めよう信頼を。つなげよう PTA と地域の輪」

笠小 PTA は、会長、副会長、書記、会計の本会役員。学年、地域、会報、母親、父親の 5 つの専門委員会で構成されています。

1 年間の活動は PTA 総会をはじめとして、

- ・モノを大切に活動（リサイクル・リユースなど）
- ・人とのふれあいを大切に活動（親子お弁当作り教室・親子お餅つき大会など）
- ・子どもの安全のための活動（プール監視講習会など）
- ・会報誌の編集・発行

です。

笠松小学校PTA

会長・副会長・書記・会計(本会役員)

学年委員会

地域委員会

会報委員会

母親委員会

父親委員会

今年度から、笠小 PTA は一つの変化を遂げました。昨年度までは、地域委員会を除く各専門委員会の委員を各学年ともクラスごとに 1 人ずつ選んでいましたが、今年度より、学年・母親・父親委員会は各学年 1 人ずつ、あわせて 6 名、それに委員長・副委員長を含めた 8 名体制で活動する事になりました。

3 各委員会の主な活動

○学年委員会

- ・リユース活動（モノを大切にする活動）

各家庭から不要になった学用品を収集し、無料で譲り合っています。

- ・給食試食会（人とのふれあいを大切にする活動）

笠松町給食センターまで足を運び、普段なかなか目にする事のない給食作りの工程や、調理の工夫を学ぶいい機会になっています。給食センター見学後は、栄養教諭から食育についての講話を聴いたり、その日の給食を試食しながら情報交換を行ったりして、保護者同士でのコミュニケーションの場としても機能しています。特に初めて1年生の子どもをもつ保護者にとっては、笠小PTAに解け込むよいきっかけになっています。



○地域委員会

地域委員会は、郊外指導委員会と子ども会育成協議会を兼ねている組織です。子ども会とPTAとは別の組織の学校が多いと思いますが、笠松小学校では、子ども会がPTAの傘下に入ることによって、相互に助け合って活動をしています。

- ・交通安全教室（子どもの安全のための活動）

子ども達が、自転車に乗って学校の近くを回るので、交差点に立ってその様子を見守ります。同日、自転車点検表を子ども達に配布して、家で大人と一緒に自転車点検を行ってもらいます。

- ・プール監視講習会（子どもの安全のための活動）

消防士の方から、AEDの使い方や、プール監視の注意点等を学びます。AEDの体験は、参加者全員が行い、貴重な体験が出来ます。



○会報委員会

会報委員会は、写真撮影をする行事が多い事や、各行事に大勢のカメラマンを確保する必要がある為、各学年に2人、副委員長と委員長の計14人で活動しています。

- ・会報誌「わかあゆ」の編集・発行

第一号では、入学式・教職員の紹介。第二号では、運動会・プール開き。第三号では、学びフェスタ・6年生の修学旅行・5年生の校外学習。第四号では、6年生の一文字。を中心記事とし、その他にも、各委員会の活動や地域の方々とのふれあいを、写真撮影・取材・編集・発行を役割分担し、読みやすく・分かりやすく・見やすい誌面作りを心がけています。「わかあゆ」は、子ども達の家族だけでなく、地域の方々にも見てもらうため、町

内会長から各家庭に回覧してもらっています。



○母親委員会

- ・親子お弁当作り教室（人とのふれあいを大切にする活動）

11月の「お弁当の日」は、“親子の会話を増やす”事と“子ども達が食のありがたみを感じながら自立心を築く”事。この2つを目的とした取り組みです。小学生が1人でお弁当を作ることには難しいため、保護者の協力も必要となってきます。そこで、毎年夏休みに、栄養教諭の指導のもと親子で簡単にできるメニューやお弁当箱への上手な詰め方などを学びます。



- ・親子お餅つき大会（人とのふれあいを大切にする活動）



全校児童数の半数以上の親子が参加する笠松小学校恒例の盛大な行事です。掛け声や声援を受けながら一生懸命お餅をつく子ども達の表情は真剣そのものです。トッピングには、醤油、きな粉の他、一風変わったコンソメポテトチップス味、さらにヨモギ餅も用意しています。

○父親委員会

- ・リサイクル活動（モノを大切にする活動）

新聞や段ボール・アルミ缶などのリサイクル品を地域の方々に出していただき、町内毎に回収しています。会場には、笠松競馬場の駐車場を借用しています。昨年度は、実施回数を年3回に増やし、その収益で、親子お餅つき大会で使う餅つきの杵を購入しました。今年度も年3回を予定しています。





・運動会の準備と後片付け(子どもの安全の為の活動)
テントの搬入・搬出作業と、万国旗の設置・撤去をしています。

運動会終了後の片付けでは、父親委員のみならず、運動会を参観した保護者が自主的にボランティアとして加わり、テントの撤去や土嚢袋の移動を行ってくださいます。

- ・親子お餅つき大会（人とのふれあいを大切にする活動）
父親委員会は会場の準備や、当日の餅をつく力仕事を担当します。

4 コミュニティ・スクールの取り組み

○「つながる学びフェスタ」の開催

11月に、体験型の課外授業を開催しています。平成25年度から始まり、今年度で3回目になります。

親子で一緒に楽しむ事を前提とした内容で、例えば、習字や合唱など、普段の授業を発展させたものから、竹細工や囲碁、陶芸のようななかなか体験できないようなものまで様々です。

講師は「校区に住む地域のみなさん」です。だからこそ、学びフェスタ後に街で出会っても気軽に話ができ、地域と子ども達が交流を深め、地域による育みを促進させています。これまでの学びフェスタの講座数は、初年度 22 講座、2年目 25 講座、今年度 27 講座と、年々その数を増やして子ども達に少しでも色々な体験をしてもらおうと思っています。

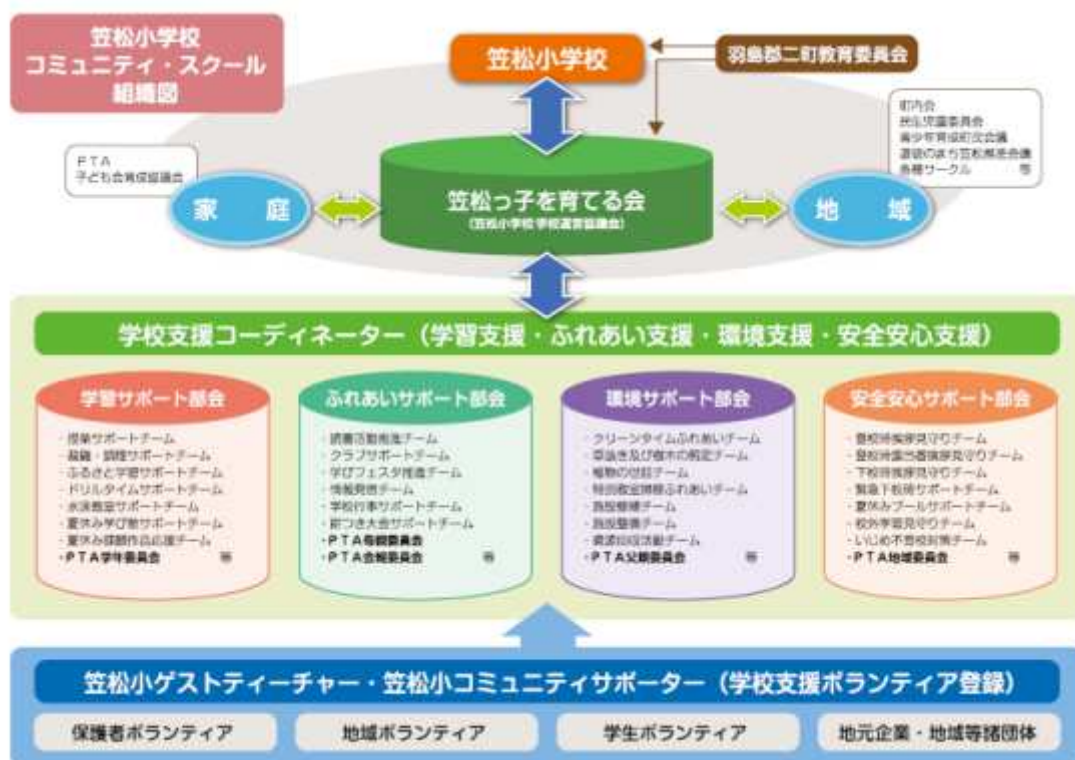


○「つながる学びフェスタ」を行う事になったきっかけ 「笠小の子はあいさつをしてくれない・・・」

学校では大きな声であいさつや返事をする子ども達からはなかなか想像し難いものでした。しかし、よくよく考えてみると、学校と家庭。この二者は、教員と保護者の立場から、子ども達と接し、子ども達にとっても私達は近い存在であるのに対して、地域の方々と学校は接点も少なく、理解し合うための場もなく、そのため子ども達も知らず知らずのうちに地域とのつながりが薄くなってしまったのではないかと思えてきました。そうした距離を少しでも縮め、お互いにコミュニケーションを取ることによって、子ども達の視野が広がり、また子ども達を見守る目が増える事で、明るいまちづくり・よりよい教育環境ができるのではないかという考えにたどり着きました。

○コミュニティ・スクールへ

学びフェスタの問題点は、特技のある人でないと講座の先生になれないということです。それでは特定の人々だけのかかわり合いとなってしまいます。そこで、できるだけ多くの地域の方々に子ども達と関わってもらい、学校と家庭と地域が互いに信頼し合い、力を合わせ、それぞれの立場で子ども達の成長を支えていけるための枠組みとして、平成 25 年 4 月に学校運営協議会「笠松っ子を育てる会」を設立しました。平成 26 年 4 月に羽島郡二町教育委員会の指定を受け「笠松小学校運営協議会会則」を施行、笠松小学校はコミュニティ・スクールとしての新たな一歩を歩み始めました。



学校と家庭と地域が一体となって、子ども達の成長を支えていくコミュニティ・スクール。その中には、基盤となる4つのサポート部会があります。学習サポート部会、ふれあいサポート部会、環境サポート部会、安全安心サポート部会です。PTA の各専門委員会もそれぞれの部会に所属し活動しています。

学習サポート部会は、ドリルタイムサポートチーム、授業サポートチーム、水泳教室サポートチームなどがあります。PTA 学年委員会が所属しています。

ふれあいサポート部会は、読書活動推進チーム、学びフェスタチーム、学校行事サポートチームなどがあります。PTA 母親委員会・会報委員会が所属しています。



ドリルタイムのサポート



箏クラブ活動のサポート

環境サポート部会は、クリーンタイムふれあいチーム、特別教室掃除ふれあいチーム、資源回収活動チームなどがあります。PTA 父親委員会が所属しています。

安全安心サポート部会は、登下校挨拶見守りチーム、夏休みプールサポートチームなどがあります。PTA 地域委員会が所属しています。



クリーンタイムのサポート



登下校・挨拶のサポート

先に説明した学びフェスタはふれあいサポート部会が中心になって行っています。また、各専門委員会の各行事は、その行事の内容に該当する学校支援ボランティアが協力してくれています。つまり、地域の方々は学校支援ボランティア登録を行うことで、自分の出来る事からコミュニティ・スクールに参加してもらう事が出来るのです。

5 まとめ

私達 PTA は、健やかな子ども達の成長を願い、これからも、学校・家庭・地域の輪をつなぎ、信頼を深めて行く為の活動をしていきます。

笠松小 PTA にはそんな思いが込めてつくられた歌があります。歌詞に「子どものために」「地域のために」とあるように、私たち PTA は、子ども達が安心して生活ができ、大人も元気になる、笠松町が誰もが暮らしやすい街になることを目指し、これからも活動していきます。

「うちの子 よその子 笠松の子ども」